

Jクラブ「FC東京」のホームゲームに年間2,000名の児童を招待
～当社の社会貢献活動の一環として～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は社会貢献活動の一環として2005年度より展開してまいりましたJクラブFC東京(監督:アレクシャンドレ タデウ ガーロ)のホームゲームへの児童招待企画を2006年シーズンも継続しますのでお知らせします。

当社はJリーグ2005年シーズンのFC東京のホームゲームにおきまして、18試合分の「ENEOS Friend-Crew Seat」をSA指定席(メインスタンドのゴール寄り席)に開設し、累計1,531名の児童養護施設・母子生活支援施設の児童及び引率者の方を招待いたしました。

2006年シーズンでは、児童養護施設・母子生活支援施設に加え、特定非営利活動法人 東京養育家庭の会を通じて養育家庭の方も招待するとともに、招待試合数を20試合に増やします。

当社は、1998年の東京フットボールクラブ株式会社設立時より同社に出資するとともに、1999年のJ2時代および2000年J1昇格以降、継続してホームゲーム開催時のフィールド看板広告およびセンターサークル広告のロゴの掲出等を通じて協賛活動を行っております。また、2002年シーズンからは、公式ユニフォーム(ホーム用およびアウェイ用)の胸の部分に「ENEOS」マークおよびロゴを掲出しております。

FC東京では今シーズンよりガーロ新監督を迎え、「Ousadia(オウザディア)～信頼・勇気・挑戦～」を2006年シーズンのスローガンに、初のリーグチャンピオンを目指しております。当社では、日本トップ水準のサッカー技術をたくさんのお子どもたちに観戦いただくことを始めとして、今後とも様々な社会貢献活動を継続して行ってまいります。

記

1. 招待試合 FC東京ホームゲーム20試合
(J1リーグ戦17試合・ヤマザキナビスコカップ予選3試合)
2. 招待人数 毎試合100名×20試合 合計2,000名

以上

 [児童招待試合一覧 \(PDF:14KB\)](#)